



2022年5月12日

各位

会社名 株式会社 ゼロ  
 代表者名 代表取締役社長 北村 竹朗  
 (コード番号: 9028、東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役グループ戦略本部長 高橋 俊博  
 (TEL. 044-520-0106)

### 業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年8月5日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、期末配当予想についても修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正(2021年7月1日~2022年6月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社株主に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 95,000	百万円 4,750	百万円 4,750	百万円 3,200	円 銭 191.09
今回修正予想(B)	102,000	4,050	4,050	2,700	160.67
増減額(B-A)	7,000	△700	△700	△500	
増減率(%)	7.4	△14.7	△14.7	△15.6	
(参考)前期連結実績 (2021年6月期)	92,171	5,332	5,373	3,626	216.55

#### (修正の理由)

本日公表の「2022年6月期第3四半期決算短信」に記載の連結業績は、前年同期比で、売上収益については増収となりましたが、各利益は減益となりました。

通期の見通しにつきましては、売上収益は、マレーシア向けの中古車輸出事業が好調に推移したことに加え、バイオマス発電燃料荷役が本格的に立ち上がったことなどにより、増収となる見通しであります。

一方、営業利益は、当初想定を大きく上回るほど燃料単価や海上輸送の燃料サーチャージが高騰したことにより車両輸送原価が大幅に上昇したことに加えて、新型コロナウイルス感染症再拡大や半導体の供給制約に伴う自動車減産の影響により、車両輸送の受託台数が減少したことが、原価低減活動や効率化の効果を上回り、減益となる見通しであります。

以上のことから、通期連結業績予想の見直しを上記のとおり修正いたします。

## 2. 期末配当予想の修正について

### (1) 期末配当予想の修正内容

	年間配当金		
	第2四半期末(中間)	期末	年間
前回予想	—	32円80銭	47円80銭
今回修正予想	—	25円20銭	40円20銭
当期実績	15円00銭		
前期実績 (2021年6月期)	15円00銭	39円10銭	54円10銭

### (2) 決定及び修正の理由

今回の通期連結業績予想の修正を踏まえ、当社の利益配分の方針に従い、年間配当金の予想を1株当たり当期利益に25%を乗じた40円20銭に変更し、期末配当金の予想につきましては、従来予想の1株当たり32円80銭を変更し、25円20銭とさせていただきます。

(注)上記の業績及び配当予想数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

以上